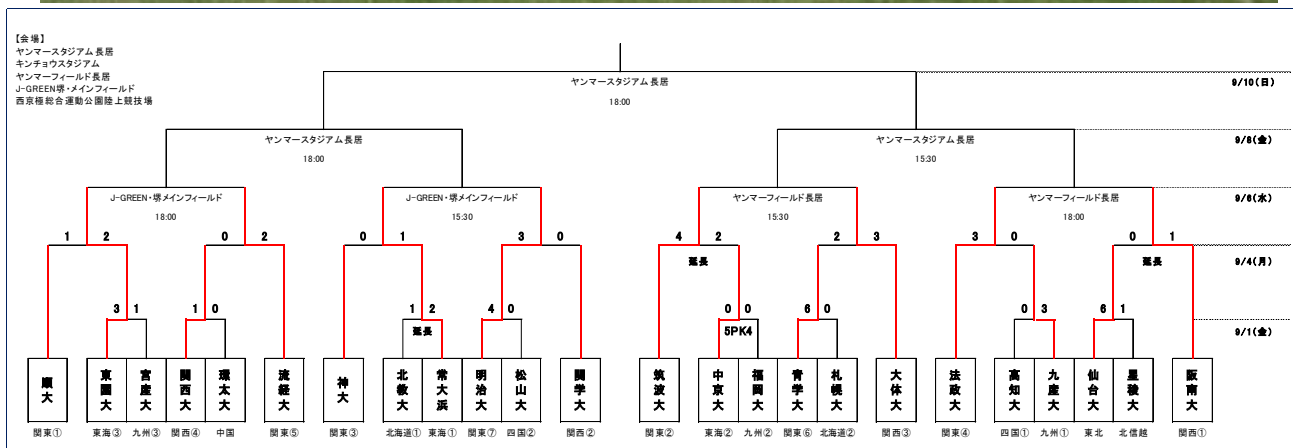


VOL.03 第41回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 準々決勝

真の大学日本一へ



©JUFA



ゴミは各自で
お持ち帰りください。

総理大臣杯の1回戦から準々決勝は
無料で観戦できます！

Match Preview

試合の見どころ

J-GREEN堺・メインフィールド

15:30 KICKOFF

Reported by 学連幹事・新貝卓丸(UNN関西学生報道連盟)

常葉大学浜松キャンパス

VS

明治大学

「我々よりも力もパフォーマンスもある相手。敬意を払って思いっきりぶつかっていく」と常葉大学浜松キャンパス・澤登正朗監督。1・2回戦を共に1点差で勝ち上がってきた勝負強さを今日も発揮したい。

明治大学は一昨年の総理大臣杯を制した関西学院大学に完勝し、3年連続の8強入り。MF8、金原唯斗(4年)の直接FKなどで3得点を奪った。栗田大輔監督は「前線からの守備など今までやってきたことを徹底してでき、それが機能してよかった」と相手の攻撃を完全に封じ込めた守備に手ごたえを感じている様子。連覇に向けて「一戦一戦全力でやっていきたい」と力強く意気込む。

J-GREEN堺・メインフィールド

18:00 KICKOFF

Reported by 岡田浩幸(読売新聞社運動部)

東海学園大学

VS

流通経済大学

攻撃力の東海学園大学、堅守の流通経済大学という構図だろう。東海学園大学はMF10、渡邊柊斗(3年)やMF14、武田拓真(4年)が好調で、狭いエリアでも確実にボールを操り、巧みに相手をかわすプレーは見る者を魅了する。

流通経済大学は2回戦で、ボランチを務めたユニバーシアード日本代表のMF5、守田英正(4年)の存在感が際立った。「無失点で勝つことが目標」と断言するキャプテンとともにFW10、ジャーメイン良(4年)らがさらに調子を上げてくれば、攻守に主導権を握る展開に持ち込めそうだ。

ヤンマーフィールド長居

15:30 KICKOFF

Reported by 関西学連 荒木茂

筑波大学

VS

大阪体育大学

中京大学を延長戦で突き放し、8強進出を決めた筑波大学。目標の今大会、関東リーグ、インカレの三冠達成に向け、まずは難敵の大阪体育大学に立ち向かう。中一日の準々決勝となるだけに、小井土正亮監督は「しっかり、リカバリーして臨みたい」と話す。

一方、2点は失ったが、守備力の差で青山学院大学に競り勝った大阪体育大学は、「筑波と対戦して、どこまでやれるか」と松尾元太監督が言うように、正念場の一戦に全力を使い果たす構えだ。

ヤンマーフィールド長居

18:00 KICKOFF

Reported by 森田将義(フリーライター)

法政大学

VS

阪南大学

「評価されるのは優勝しかない」と長山一也監督が意気込む法政大学の鍵を担うのは、FW9、ディサロ燦シルヴァーノ(3年)とFW20、上田綺也(1年)の2トップ。「どっちかがアシストして、どっちかが決めるという役割が決まってきた」と指揮官は手応えを話す。

対する阪南大は、2回戦で延長戦までもつれたが、「決めるべき所を決めていれば、延長戦まで行かなかった」とMF14、脇坂泰斗(4年)が振り返ったように攻撃の質は決して悪くなく、準々決勝は得点に期待できそうだ。

関西学生サッカー連盟公式SNS

- ①試合前日には、公式facebookにて試合の見どころをご紹介！！
 - ②試合当日には、公式Twitterにて全会場の前半スコア&試合終了時スコアを投稿！！
- ※当日のメンバー表&公式記録は公式facebookにて投稿します。
- ③試合後の詳しい結果を公式facebookにて投稿！！

各公式サイトへはQRコードより読み取り、アクセスいただけます。
大会情報盛りだくさんの関西学生サッカー連盟公式SNSをぜひご活用ください！

SNSアカウント一覧

facebook



Twitter



Match Review Result & Report

Reported by 岡田浩幸(読売新聞社運動部)

関西大学

VS

流通経済大学

ユニバーシアード日本代表で活躍したMF5、守田英正(4年)や、DF2、小池裕太(3年)らを擁し、堅守と厚い攻撃を誇る流通経済大学と、1回戦を苦しみながら勝ち上がった関西大学の対戦。流通経済大学が主導権を握りながら、関西大学も左サイドを起点に攻勢に出る展開となった。

関西大学は序盤からMF20、牧野寛太(2年)らが積極的に仕掛けた。16分にはFW19、吉井佑将(4年)が駆け上がり、ボールを受けた中央の牧野がシュートを狙うもミートできず。23分の牧野のシュートも、相手DFにブロックされた。

一方の流通経済大学は守田が「最初はどういう形でいくか、はつきりできなかった」と話したように、序盤はどこかぎこちない。それでも安定した守備で徐々にペースをつかみ、後半は押し気味に試合を進めると、先制機は79分に訪れた。

敵陣で相手がクリアしたボールが、間合いを詰めていたMF7、新垣貴之(3年)に当たり、相手ゴール前にいたMF11、渡邊新太(4年)の元に。冷静に右足を振りぬき、ゴールネットを揺らした。ラッキーな形だったが、「そこできっちり決めることが重要」と守田。これで優位に立ち、試合終了間際には、前がかりの相手から、カウンターでMF18、立花歩夢(4年)が決めて勝負あり。大会連覇の経験もある流通経済大学の勝負強さが、随所に際立った。

2017年9月4日(月) 15:31キックオフ
会場/キンチョウスタジアム 天候/曇 入場者数/434人

関西大学	0	0-0 0-2	2	流通経済大学
------	---	------------	---	--------

得点
(アシスト)
79分 渡邊新太(新垣貴之)
90+6分 立花歩夢(ジャーメイン良)



関西学生サッカーに専用スタジアムを!!

関西学生サッカーの聖地づくりを目標に“未来・夢倶楽部会員”を募集して

います! 終身会費30,000円で、いつでも入会可能!



※未来夢倶楽部は当連盟主催・主管の全ての大会に無料で入場可能です。

関西学生サッカー未来・夢倶楽部
会員募集中!!



夢実現はわたしたちの合言葉



入会案内は入場ゲート・受付にご用意しています!

MIKASA

KIRIN
キリンビバレッジ

MIZUNO

HOKOKU
ENGINEERING

mandom

Match Review Result & Report

Reported by 岡田浩幸(読売新聞社運動部)

順天堂大学

vs

東海学園大学

昨年準優勝で、関東地区予選を制した順天堂大学と、高いスキルを生かした攻撃スタイルの東海学園大学の対戦は、それぞれの持ち味がぶつかり合った。

東海学園大学は主将のDF5、本多琢人(4年)が「速いボール回しからの攻撃はうちがずっと追求していること」と話すようにMF14、武田拓真(4年)らが巧みなボールコントロールで攻勢をかけた。ボールの支配は順天堂大学が優勢でも、自らのスタイルを信じ抜いた東海学園大学に先制点が舞い込んだ。

32分、中央でFW11、榎本大輝(3年)がボールを奪って一気にカウンターを仕掛け、最後は武田がゴール左隅に狙い澄ましたシュートを蹴りこんだ。さらに前半アディショナルタイムには榎本が切れ込み、最後はシュートが相手にあたったがゴールに吸い込まれた。

順天堂大学も負けじと後半開始早々に追撃。50分、ペナルティエリア内でボールを受けたMF10、米田隼也(4年)がこちらにも細かいステップでシュートコースを開け、右足で巻くようなシュートをゴール右隅に決めた。

ともに高い技術を見せたが、順天堂大学は先発したユニバーシアード日本代表のFW11、旗手怜央(2年)が周囲との関係を欠くなど、相手の3倍近い17本ものシュートを打つも1点止まり。相手の終盤の猛攻も耐えきった東海学園大学が、8強入りを決めた。

2017年9月4日(水) 18:00キックオフ
会場/キンチョウスタジアム 天候/曇 入場者数/567人

順天堂大学 1 0-2 2 東海学園大学
1-0

50分 米田隼也(浮田健誠)

得点
(アシスト)

32分 武田拓真(榎本大輝)
45+1分 榎本大輝(渡邊悠斗)



テレビ放送のご案内

放送局	放送日	放送時間
読売テレビ	9月10日(日)	深夜1:32~
日テレG+	9月24日(日)	13:30~
再放送	9月30日(土)	7:30~

※放送時間は変更になる可能性があります。大会プログラムP.6・7にも掲載しています。

ご来場のみなさまへ

MATCH PREVIEWは、モノクロで配布させていただきます。

ご理解ご了承をお願いいたします。

*カラー版は公式サイトに掲載しております。

Match Review Result & Report

Reported by 森田将義 (フリーライター)

法政大学

vs

九州産業大学

2017年9月4日(月) 15:30キックオフ
会場/ヤンマーフィールド長居 天候/曇 入場者数/281人

序盤は法政大学が最終ラインからの組み立てで主導権を握りながらも、「試合の入りから相手がガツガツ来たので、苦しんだ」(FW9、ディサロ燦シルヴァーノ)。時間の経過と共に、「Jクラブとの練習試合でも通用している」と長山一也監督が話す、右サイドのDF2、武藤友樹(4年)とMF8、紺野和也(2年)のコンビからクロスが上がる場面が増加。ゴール前との息が合わずシュートまで持ち込めない場面が続いたが、攻撃の手を緩めずサイド攻撃を続けた。すると、32分には左サイドでボールを受けたMF13、末木裕也(2年)がゴール前にクロスを展開。「裕也と目が合った瞬間にボールが出てくるかなと思った」と振り返るディサロが頭で合わせて、法政大学が先制した。

後半に入ってから、九州産業大学・MF7、赤木翼(3年)を捕まえきれず守備の時間も見られたが、「チームとして粘り強くやっつこうと意識していた」(長山監督)と集中を切らさず失点を回避。苦しい時間を凌ぐと、66分には再び、好機が訪れ、左CKからDF3、前谷崇博(3年)が競り合ったこぼれをディサロがダイレクトでゴール左隅に叩き込み、法政大学がリードを広げた。試合終盤の89分には、DF4、森岡陸(4年)からのパスを受けた途中出場のMF14、長谷川元希(1年)が技あり弾を決めて、タイムアップ。「狙い通りの試合展開ができた」と長山監督。法政大学が勝利した。

法政大学	3	1-0 2-0	0	九州産業大学
32分 ディサロ燦シルヴァーノ(末木裕也)				
66分 ディサロ燦シルヴァーノ				
(前谷崇博・青柳燦汰)				
89分 長谷川元希(森岡陸)				
		得点 (アシスト)		



Reported by 森田将義 (フリーライター)

仙台大学

vs

阪南大学

2017年9月4日(月) 18:00キックオフ
会場/ヤンマーフィールド長居 天候/曇 入場者数/306人

序盤こそ仙台大学の勢いに飲まれた阪南大学だったが、時間の経過と共にリズムカルなボール回しで試合の主導権を把握。ゴール前では、「スペースがほとんどなかったので、どうするか悩んでいた」(須佐徹太郎監督)状態ながらも好機を作ったが、仙台大学の粘り強い守りに苦しんだ。それでも、見せ場を作り、30分にはDF2、真瀬拓海(1年)が決定機を迎えたが、枠を捉えることができず、前半を終えた後半に入ってから、「1回戦の疲れが見えた」(吉井秀邦監督)仙台大学を圧倒。「かなり能力が高かった」と敵将が認めるMF10、山口一真(4年)を中心に攻勢を強めたが、一点が奪えず。

8本のシュートを打ちながらも「後半は思い切りが良くなったけど、シュート精度が良くなかった」(須佐監督)ために、試合は延長戦に突入した。延長戦の立ち上がりからは仙台大学に押し込まれ、FW14、宮澤弘(4年)やFW7、松尾佑介(2年)に決定機を与えたが、GK21、渡邊健太郎(4年)の好セーブで失点を回避。延長後半からはMF14、脇坂泰斗(4年)が「チームに勢いを与えてくれる」と評するMF15、山口拓真(1年)を投入し、攻撃のギアを再び上げた。すると、105分にはMF18、田中彰馬(1年)が上げたクロス、山口拓が合わせて先制に成功。そのまま逃げ切り試合終了を迎えた。

仙台大学	0	0-0 0-0 0-0 0-1	1	阪南大学
105分 山口拓真(田中彰馬)				
		得点 (アシスト)		



Match Review

Result & Report

Reported by 学連幹事

神奈川大学

vs

常葉大学浜松キャンパス

2017年9月4日(月) 15:30キックオフ

会場/西京極総合運動公園陸上競技場 天候/晴 入場者数/459人

神奈川大学	0	0-0 0-1	1	常葉大学浜松キャンパス
		得点 (アシスト)	57分	杉本マテウス(土井智之)

関東大学リーグの所属は2部ながら、関東予選を3位で全国大会の切符を掴んだ神奈川大学と、東海王者の常葉大学浜松キャンパスによる一戦。序盤はロングボールが飛び交い落ち着かない試合展開の中、徐々に神奈川大学がボールを保持する時間が増え始める。一方の常葉大学浜松キャンパスは中盤でのボール奪取からのカウンターで攻撃の糸口を模索するも、両者無得点のまま前半を折り返す。

後半に入り、常葉大学浜松キャンパス・澤登正朗監督が「相手の背後、サイドを上手くつけていた」と話すように、MF10、土井智之(2年)のボールキープからリズムを掴んだ常葉大学。57分、その土井が起点となり、MF19、杉本マテウス(2年)がミドルシュートを沈め均衡を破った。一方、追いつきたい神奈川大学は終盤にかけ猛攻を仕掛けるも常葉大学の体を張った守備を前に最後までネットを揺らすことなく、無得点のまま今大会を去る結果に終わった。一方、1点を守りきった常葉大学は準々決勝に駒を進めた。



Reported by 新貝卓丸 (UNN関西学生報道連盟)

明治大学

vs

関西学院大学

2017年9月4日(月) 18:00キックオフ

会場/西京極総合運動公園陸上競技場 天候/晴 入場者数/526人

明治大学	3	0-0 3-0	0	関西学院大学
56分 オウンゴール 62分 金原唯斗 73分 鳥海晃司(櫻井 敬基)		得点 (アシスト)		

1回戦で松山大学に勝利した明治大学は一昨年の総理大臣杯、インカレで敗北を喫した関西学院大学と対戦。明治大学はユニバーシアード代表組のMF6、柴戸海(4年)、DF2、岩武克弥(3年)を揃って先発起用し、リベンジを狙う。一方の関西学院大学は、関西選手権決勝で接戦を落とした悔しさを払拭すべく、2大会ぶりの総理大臣杯に臨んだ。試合は序盤から激しいプレスを仕掛けた明治大学がボールを保持し、主導権を握る。長短織り交ぜたパスワークでリズムを作りながら、FW9土居柊太(4年)、FW26、中川諒真(2年)が相手DFの裏を狙った所にすかさずボールを送り込み、好機を生み出していく。しかし、フィニッシュの精度が甘く得点には至らない。関西学院大学はMF17、中野克哉(3年)らが個人技で打開を図るが、明治大学DFの集中した守りの前にシュートに持ち込む場面も限られるなど苦しい展開を強いられる。

前半をスコアレスで折り返し、迎えた後半。攻勢を強める明治大学は56分、右サイドからのクロスの流れからオウンゴールを誘い先制に成功する。さらに62分、MF8、金原唯斗(4年)が鮮やかな直接FKを沈めると、73分には右CKからDF3、鳥海晃司(4年)がヘディングシュートを決めダメ押しゴール。その後も運動量が落ちることなく、終始試合を支配した明治大学が3年連続の8強進出。連覇へ向けまた一歩前進した。



Match Review Result & Report

Reported by 関西学連 荒木茂

青山学院大学

vs

大阪体育大学

大勝した1回戦と全く同じ布陣の青山学院大学を、ユニバーシアード帰りのDF4、菊池流帆(3年)ら強力なDF陣をそろえた大阪体育大学が迎え撃った。大阪体育大学は16分、試合を左右する先制点。DF3、小川明(3年)の左クロスからのこぼれ球をFW9、林大地(2年)が蹴り込んだ。一方、青山学院大学はFW29、菅原大雅(1年)をターゲットにするが、ハイボールは菊池、DF14、田中駿汰(2年)に跳ね返され、攻めの形が作れない。

後半に入ると、1回戦で3得点した青山学院大学のMF11、小田寛貴(4年)がこの試合でもさえた動きを見せる。6分、小田が右サイドから切り込んで放った強烈なシュートが、相手GK21、立川小太郎(3年)の手をかすめてゴールを揺らした。1-1として息を吹き返した青山学院大学を突き放したのは、先制点同様、大阪体育大学・小川のクロスからだった。18分、林が相手DFに競りながら頭でゴール左隅に勝ち越し弾。さらに48分には、MF23、西田恵(2年)が倒されて獲得したPKを自ら決めて3点目。青山学院大学はその直後、DF17、椿健太郎(3年)がFKを左足で合わせ1点差に迫るが、反撃はここまでだった。

就任以来、全国大会初勝利を飾った大阪体育大学・松尾元太監督は「公式戦の間隔が開いてしまったので、結構プレッシャーがあったのかもしれない」と僅差となった試合を振り返った。

2017年9月4日(月) 15:30キックオフ
会場/J-GREEN堺・メインフィールド 天候/晴 入場者数/377人

青山学院大学	2	0-1 2-2	3	大阪体育大学
51分 小田寛貴(山田武典)			16分 林大地(小川明)	
90+4分 椿健太郎(尾ノ上幸生)		得点 (アシスト)	63分 林大地(小川明)	
			90+3分 西田恵	



Reported by 関西学連 荒木茂

筑波大学

vs

中京大学

優勝候補の筑波大学は、MF8、戸嶋祥郎(4年)、MF9、三笥薫(2年)、FW11、中野誠也(4年)のユニバーシアード代表組をベンチに温存。0-5で敗れた前年インカレの雪辱を狙う中京大学は執念で延長戦に持ち込んだが、途中出場のユニバ勢にとどめを刺された。

先制したのは中京大学。8分、MF7、藤島樹騎也(3年)からの縦パスを受けたFW9、水野翔太(4年)がゴール右隅に決めた。一方、ほぼ相手陣内で試合を進めながら、なかなかシュートにまで持ち込めない筑波大学。ようやく26分、FW10、北川柊斗(4年)が右足で同点弾を放った。31分にはDF14、会津雄生(3年)が最前線に抜け出してシュート。逆転に成功した。

後半の立ち上がりは中京大学のペース。たまたま、筑波大学は55分、三笥を投入するが、リズムは変わらない。立て直しを図ろうと戸嶋、中野も入れた直後の83分、中京大学はMF8、西村仁志(4年)が中央から右足でロングシュート。約30メートルの同点弾がゴールに突き刺さった。

2試合連続の延長戦となり、疲れの見え始めた中京大学を、筑波大学の攻撃陣がかく乱。96分と100+3分に戸嶋が連続得点し、筑波大学が8強進出を決めた。

筑波大学・小井土正亮監督は「後半、受け身になって相手のペースとなるなど、反省点も多かった」と話した。中京大学・朝倉吉彦監督は「延長にはいっても1点差なら追いつけると思ったが、4点目が効いた」とサバサバした表情で語った。

2017年9月4日(月) 18:00キックオフ
会場/J-GREEN堺・メインフィールド 天候/曇 入場者数/303人

筑波大学	4	2-1 0-1 2-0 0-0	2	中京大学
26分 北川柊斗(近藤太)			8分 水野翔太(藤島樹騎也)	
31分 会津雄生(鈴木徳真・北川柊人)		得点 (アシスト)	83分 西村仁志(大谷晃平)	
96分 戸嶋祥郎				
100+3分 戸嶋祥郎				



Official Goods

第41回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント グッズ販売！

◎ユニフォーム型ストラップ



全24チーム分販売！
売り切れ御免！

販売価格 500円

◎記念タオル



販売価格 700円

◎公式プログラム

販売価格 1000円



販売は各会場入場ゲートにて。
ご来場の記念にぜひお買い求めください！

第41回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 広報企画！

トモニタカカオウ企画

トモニタカカオウ企画として出場校の選手やスタッフたちが書いた「応援をしてくれる仲間や家族、恩師などに向けてのメッセージ」を関西学生サッカー連盟公式Google+アカウントにて公開しています！是非ご覧ください！



第41回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 勝敗予想企画！

試合観戦で素敵な商品をGETしよう！！
・勝敗予想企画でマンダム商品が当たる



■勝敗予想

応援するチームの勝利を予想して
景品を当てよう！
試合開始前に勝敗予想用紙を
勝敗予想BOXに入れてね！



TICKET

お買い求めについて

チケットぴあにて販売中！ (準決勝より有料)

チケットぴあ

(Pコード 684-872)

	前売り	当日
大人	¥800	¥1,000
中高生	¥300	¥400

※試合会場でもお買い求めいただけます。お買い求めは入場ゲート横物販コーナーにて。



禁煙・ゴミの持ち帰りに
ご協力お願いします。



好プレーに

CLAP

関西学生サッカーファンクラブのご案内

関西学生サッカーを盛り上げるため、選手たちを熱くサポートしよう！

◎会員特典

- ① 関西学連主催・主管大会の入場無料。
- ② 関西学連主催・主管大会のプログラム・チケットの送付。
- ③ ファンクラブニュース、年10回程度発行。

【お申込み】

下記の宛先に顔写真(2×3cm)2枚と年会費(4000円)、「氏名・住所・電話番号・生年月日・年齢・職業・応援している大学・選手」をご記入の用紙を同封し、現金書留にてお申込み下さい。

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-4-10 博労町エステートビル601

関西学生サッカー連盟「ファンクラブ入会」係 まで

